

安心・共生の21世紀を！



私はヨットです。
みなさんの風を受け
かいっぱい進みます。

石川さわ子

北海道議会議員 北区

石川さわ子

道議会
レポート

ごあいさつ

蒸し暑い夏が過ぎ、収穫の秋になりました。集中豪雨や台風も心配です。食料や飲料水の備蓄など、ご近所で声をかけあって災害に備えましょう。

札幌市北区選出の道議会議員として2年目の活動に入っています。皆様の声を道政に反映し、もっと身近な道政へと変えていきます。

石川さわ子

2024年 秋号 発行：北海道議会議員 石川さわ子
〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 TEL 011-219-0112 FAX 011-219-0113



大好きな北海道・もっと元気に

石川さわ子 プロフィール

- 1958年 旭川市生まれ(稚内市育ち)
- 77年 北海道立旭川東高等学校卒業
- 80年 北海道教育大学札幌分校 養護教員課程中退
- 2011年 札幌市議会議員に初当選
- 11～23年 札幌市議会厚生委員、新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員等を歴任
- 2023年 北海道議会議員に初当選
[北海道結志会]に所属

[現在] 1 期目、北海道議会環境生活委員、産炭地域振興・エネルギー調査特別委員、石狩湾新港管理組合議会議員、認定NPO法人カラカネイットトンボを守る会顧問、北海道版SDGs研究会代表

第24年度第1回定例道議会 (2/21～3/19)

◆ 2024年度一般会計当初予算3兆215億円、2023年度一般会計補正予算など議案107件、意見書2件が可決された。予算編成では、490億円の赤字を財政調整基金等で埋め合わせているものの、道債残高は5兆8,400億円、将来負担比率も増加。今後も収支不足が続く見通しであり、財政健全化が課題です。

◆ 予算特別委員会での石川さわ子の質問 (質問時間63分)

- 保健福祉部 (3/12)
 - 子ども・子育て政策について ● 困難な問題を抱える女性への支援について ● 自殺防止対策について ● 介護保険事業について
 - 地域医療について
- 総合政策部 (3/13)
 - 地域振興について ● 交通政策について
- 総務部 (3/14)
 - 原子力防災について ● 行財政運営について等

第2回定例道議会 (6/18～7/5)

◆ 2024年度一般会計補正予算14億4,687万円、北海道庁旧本庁舎条例案、航空機燃料の安定的な供給体制の構築を求める意見書等が可決された。

第1回定例道議会 予算特別委員会
質問する 石川さわ子 (3月13日)



第1委員会室
(北海道議会議事堂6階)

住み慣れた地域で、 安心して自分らしく暮らしたい

— 2024年 第1回 定例道議会 石川さわ子の予算特別委員会質問から抜粋 —

質問
道内の訪問介護事業所は過去5年間に43市町村で計77か所減っている。生活を支える居宅サービスが利用の6割を占めている現状の中、事業所の閉鎖は高齢者のサービス利用を制限させ、生活と生命への支援の抑制に通じる。高齢者が安心して地域で住み続けられるため、介護の担い手不足にどのように対応していくのか伺う。

答弁 (保健福祉部長)
道では、高校生や地域住民に介護業務など就業体験等を行う市町村への補助、働きやすい環境づくりのための事業所の認証取得の促進等を行っている。今後も、市町村等と連携のもと、人材確保対策に取り組み、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して介護サービスを受けられる体制づくりに努める。

答弁 (原子力安全対策局長)
複合災害が発生した場合には、道路の寸断は起こり得ることから、避難が確実に行えるように今後も様々な事態を想定した訓練を繰り返し実施するなど国や町村、防災関係機関が緊急時に体となって活動できるよう取り組む。

指摘
「原発は安全ではなかった」が福島第1原発事故の教訓。それを踏まえ、実効性ある原子力防災計画の充実・強化を求めた。

060-0041

切手はカン
バでお願
いします

▼切り取り、郵送にてご意見をお聞かせください。

札幌市中央区大通東2丁目15-1

サラザビル4F

北海道議会議員

石川さわ子 行き

● 介護保険事業について

● 原子力防災について

質問
能登半島地震では土砂災害が多数起き、北陸電力志賀原発周辺の道路が通行できなくなった。神恵内村は、小樽方面へ向かう国道と道道が寸断されれば、村全体が孤立し、原発事故時、住民計約700人が避難できなくなる恐れがある。地域の孤立化を防ぎ、円滑な避難を実現するため今後どのように取り組むのか。